



R.I. 第 2630 地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2009 ~ 2010 年度 高山中央 RC 会長テーマ 「**聞・思・修**」

会長 橋本 修 幹事 岩垣津 亘 会報委員長 長瀬 栄二郎 会報担当 高木 純

創立 1991 年 5 月 20 日

事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

例会日 毎週月曜日 PM12:30 ~

ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

< 出席報告 >

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 807 回	50 名	45 名	43 名	-	95.55%
前々回 805 回	50 名	45 名	26 名	19 名	100%

< 点 鐘 > 会長 橋本 修
 < ソング > われらの生業

< 本日のビジター >

高山西 RC 米澤 久二 様
 中林 和夫 様

< 本日のゲスト >

高山市副市長 國島 芳明 様

< 会長の時間 > 会長 橋本 修

本日は ゲストとして後程ご講演を賜ります副市長 國島芳明(みちひろ)様にはご多忙の所、快くお引き受けいただきまして、ありがとうございます。又、講師の方よろしくお願ひ申し上げます。

100%例会と銘打ちましての本日ですが、結果は御覧の通りでございます、次の機会へのチャレンジの意気込みを感じているところであります。

さて、ドイツでは世界陸上が行われておりますが、日本の民家には古くから標準寸法というのがございますが、出口の鴨居の高さが 5.8 尺 (1,760) 天井高が 8 尺 (2,430) と言われております。今日 100m 決勝の金メダリストポルト選手の決勝タイムを換算しますと、41 歩で走りました。1 歩の距離が、8 尺 (2,430) になります。皆様方も一度 100m を何歩で走れるか、挑戦してみてくださいでしょうか。おそらく 50m くらいでリタイアされるのではないかと思います。

話はいかがでしょうか、R.C. は政治の話題は、なるべく避けるようにと伺っておりますが、総選挙が近くなってきましたので、少しだけ触れたいと思います。マニフェストと言う言葉が、今回よく使われておりますが、イギリスで生まれたマニフェストは、「具体的かつ詳細な政策目標」ということだそうです。イギリスでは 300 円くらい払って駅の売店で買います。日本の様に選挙になったら作るようなものではありません。ここに日本とイギリスの政治文化の差を感じます。また、マニフェストのマニはラテン語で、ハンド(手)フェストはタッチ触

ることを指します。手で触ってよくわかるという意味で、マニフェストには具体性という意味が込められています。

最後にクラブの件についてご報告いたします。高校生バンド LIVE in 高山に向けて着々と準備が進んでおり、情報誌プレスになぜロータリーが高校生バンドを開催したいのかという内容が記事として取り上げられ、明日お手元に届きますので御覧いただきたいと思ひます。また、高山市として事業に賛同いただき当日荒井副市長さんにご挨拶賜る予定になっております。参加チームも 9 チームが決定し、つめの段階に入っております。今後皆様方のご協力を願うかと思ひますがよろしくお願ひします。地区大会のパンフが届きました。未登録の方は、御一考 いただければ幸いです。



< 幹事報告 > 幹事 岩垣津 亘

R I 本部より

・ロータリーアン誌

国際ロータリー第 2630 地区地区大会実行委員長より

・2009 ~ 2010 年度地区大会パンフレット

米山梅吉記念館より

・館報 Vol. 14

・米山梅吉記念館創立 40 周年記念式典のご案内

日時: 9 月 12 日 (土) 14:00 ~

場所: 米山梅吉記念館

高山ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

・9 月 10 日 (木) 18:30 ~

プレイビー 軽スポーツ例会
各務原ロータリークラブより
・メールアドレス・ホームページURL 変更のお知らせ
新メールアドレス info@kakamigahara-rc.jp
新ホームページURL <http://kakamigahara-rc.jp>
<飛騨高山国際協会より>
・「地球のステージ～ありがとうの物語」上映並びにルーマニアシビウ国際演劇祭ボランティアスタッフ活動報告のご案内
<活動計画書>
・下呂RC ・美濃加茂RC
<クラブ会報>
・下呂RC

<本日のプログラム>

社会奉仕委員会 永井委員長

こんにちは。本日は担当例会ということで、高山市副市長・國島芳明様よりお話を伺いたと思います。「環境問題と高山市の取組みについて」と題してお話しいただきます。宜しくお願い致します。



環境保全について

高山市副市長 國島 義明 様

今日はお招きいただきありがとうございます。
永井委員長から環境問題について話をしてほしいといわれましたので、若干のお時間をいただきまして、市政の一端を含めてですが、ご紹介をさせていただきたいと思っております。
環境という言葉は、周囲の状況・出来事・体制、あるいは人々の生活に深くかかわった安全・安心というような、大変幅広い分野をもっています。今日は、中でも安全・安心を含めて地球の温暖化について一緒に考えさせていただこうと思います。地球上では、気候変動によって50年に1度と言われる規模の洪水が、いまや5年に1度起こるとい時代になりました。高山市も大きな被害を受けておりますが、50年に1度の災害といたら、ほとんどないというイメージで想定しておりましたが、最近では5年に1度ですので、常に起こり得る災害というふうになってきました。平成16年から5年後の今年はまさに当たり年となっております。私どもも気を引き締め、万全な体制を整えて平成21年の台風時期を迎えようとしております。

こうした現象の大きな原因として、地球環境の急激な変化があげられております。今から30年くらい前までは、

地球は大きく、資源は無尽蔵で、私たちから発生する悪影響もすべて飲み込んで解決してくれると信じておりました。ですから、少しでも快適で便利な生活を求めて大量の資源を消費し、地球を酷使することに疑問をもちませんでした。それが、科学の進歩だと誤解しておったわけです。ところが、気がついてみると地球は廃棄物や汚染物質で表面も内部も完全に酷使され、回復できないようなダメージを受けていました。人類の歴史は2～300万年あるわけですが、一刻も早く対応しなければならないところですよ。



これらのことは、国家が取り組んで済むという問題ではなく、地球に住む私たち一人ひとりがどれだけ責任をとるかということが問われる課題になっています。私たちのライフスタイルそのものを根底から見直さなければならない課題であると捉えていただきたいと思います。

地球温暖化は、大気中の二酸化炭素など、温室効果ガスの濃度上昇が原因だと考えられております。地球は太陽からのエネルギーで温められます。暖められた熱が地球から反射し、放出されます。この放出された熱を、地球を覆う温室効果ガスが吸収し、さらに反射して地球に戻しているわけですが、これまで地球上では熱の収支バランスが適当に保たれて、人類が生き残るために適した環境が保たれていました。しかし、産業活動が活発になり、特に二酸化炭素の排出量が急増して、大気中の二酸化炭素が増え続けました。層の密度が濃くなり、熱の通過量が少なくなって反射される熱量が増え続け、地球が徐々に暖かくなってきたということになります。

地球温暖化を防ぐためには、まず二酸化炭素を空気中に放出しない、そして大気中から二酸化炭素を取り除くことが必要です。地球温暖化対策が、世界的課題として取り上げられ、排出を大規模に減らす「低炭素化社会」の実現へ目標基準や政策が定められています。環境の範囲は社会的ニーズや国民の意識の変化によって、変遷します。環境の保全は健康や生活環境への被害防止にとどまらず、正常な水や大気、静けさ、良好な自然環境を確保することと考えられます。つまり人々の安全・安心をどのように確保するかということになります。市町村の責務としては、身近な環境問題の他、地球温暖化や生物多様性保全などの全地球的な将来にわたる課題についても、それぞれに対策を継続し、進めることだと思っております。その対策として、国際関係も含めた自然の保護と活用、あるいは地域産業と雇用のあり方、街づくりといった、地域振興を見据えた独自性が求められているのではないかと考えています。



国は、省エネ技術の発達や導入に躍起になっております。地球温暖化は18世紀に起こった産業革命以来の産業の変革を生み出そうとしているのではないかと考えられます。アメリカのオバマ大統領の方針のひとつに、グリーンニューディール政策があります。失業率が8%を超えるアメリカの現実を踏まえての政策であります。これまでのブッシュ政権は、温暖化防止のさまざまな取り組みが経済成長を妨げるとして反対してきました。これに対して、今後10年で1500億ドルをクリーンエネルギーなどに戦略的に投資して500万人の雇用を生み出し、自動車燃費基準を毎年4%ずつ引き上げて、2015年までには100万台のプラグインハイブリッド車を国内に走らせる。また、自然エネルギーの電力割合を2012年までには10%上げ、さらに2050年までに25%引き上げるといような政策で、アメリカはまさに新たな産業の創出を目的としているわけです。

日本はどうでしょう？新しい分野のビジネスとして、環境関連ビジネス政策需要が誕生していると捉えても過言ではないと思います。話題の政権交代があったとしても、これは大きく変わらないと思っております。次に国や県の環境関連支援として、県では、グリーンビジネス事業化等総合支援補助金制度を行っております。いずれも、中小企業や組合、NPOなどを対象にしております。ビジネスモデル支援は事業化のための必要な調査や実験施設整備などに2分の1を補助して、500万円以内、さらに3年間継続するという内容です。新エネルギー導入支援と、省エネルギー導入支援については、3分の1を補助して300万円以内、これは単年度です。

国におきましては、太陽光発電とか省エネ住宅に対する固定資産税の減免制度を設けましたし、話題のエコカー購入補助なども講じています。住宅用太陽光発電についても補助金制度をスタートさせています。これも環境保全と景気対策の2枚看板をもって実施されているという感はありませんが、地球環境を改善して、ニュービジネスとしての科学的・社会的進展を目指していることに変わりはないと思っております。大量生産、大量消費、あるいは大量廃棄型の社会から、無駄遣いをしない、地球に優しい環境型社会への転換を目指して、2000年に循環型社会形成推進基本法という法律ができました。その実行計画では、コンパクトな街づくりや自然を活用したエネルギー自給率を高め、温室効果ガスの排出量を大幅に減らすという低炭素化社会、そして森林や水、空気や農作物、動植物などの自然の恵みを協議し継承することによって、命を守ろうとする自然共生社会、そして3Rと言われる、不要なものを作り出さない「Reduce」、繰り返し使う「Reuse」、

資源として再資源化する「Recycle」、この3Rによる循環型社会の形成に向けた取り組みを行おうというところでは、地球温暖化の危機や、資源浪費による危機、生態性の危機など、問題が山積みになっております。これらを解決するためには地球の生態系と共生して持続的に成長発展できる経済社会をつくって行く必要があると思っております。このことは、従来続けてきた私たちの生き方を変えることではないかと思っております。市では、主役は市民の皆様であり、事業者の皆様であることを認識して、パートナーシップを築いていきたいと思っております。市の取り組みとして、ポイ捨て禁止やレジ袋の有料化などを実施しておりますが、持続可能な社会をつくるためには、これまでの生き方や生活形態を変えることが前提となります。市として、積極的に取り組んでいきたいと思っております。森林保全・農地保全・環境教育・市民活動の推進など、施策を講じておりますが、地球規模で「行動は足元から」を基本としています。

環境問題は、人間の命を守るための課題であり、取り組みであり、さらには他人事でなく私たち一人一人が取り組まなければならないことであると思っております。さらには、新しいビジネスを生み出すチャンスを含んでいる課題であるとも捉えております。

行政が行わなければならない政策は、大きく2分類できるのではないかと捉えております。ひとつの分類は、目の前に起こっている事柄に早急に対応して早く効果を生み出さなければならない政策です。現在行っております景気対策や道路などの修繕、あるいは生活困窮者などへの支援、さらには高齢者対策、ごみ処理などがこの分類に当てはまると思っております。それに対して、もうひとつの分類では、将来効果が上がることを見越して今実施していかなければならない政策です。次の世代を担う子供たちを大きく育てる教育に関することや、少子化対策を含めた人口減少社会への対応策、あるいは道路や下水道などを計画的整備する基盤整備、そして環境保全の施策でございます。これらの施策はすぐに効果がみられなくても、将来必ず後悔しなくてもいいような希望を見いだす施策といえます。環境問題について、高山中央ロータリークラブの皆様には、これまで積極的に取り組んでいただいております。これからもご理解とご協力をお願いしたいと思います。最後に市政のことについて、少しお話をさせていただきたいと思っております。100年に1度という経済不況の中で、昨年度は40億円を超える補正を組み、対応をさせていただきました。つなぎといわれる融資については、多くの要請にご融資をさせていただき、好評をいただいておりますが、それだけではつなぎであります。明日につながる、あるいは明日からの雇用を確保できるよう、仕事をつくらなければなりません。公費でいろいろなものを建てるということだけでは、もう対応できないことになっております。高山市だけでなく、周辺の市町村、あるいは県、あるいは国と一緒にした対応策を講じなければいけないと思っております。この9月にも、相当額の補正により、雇用を守る・地域を守る・コミュニティーを守るためのお金をつくるべく、議会へ出そうとしています。ぜひ皆様方にもその点にご理解を頂ければありがたいと思っております。目先

の景気対策も大事でしたが、将来的に効果が出ると言われる教育や環境についても、努力をしなければなりません。ここにお金を使うことに、ご理解を賜りたいと思います。また、私どもが皆様からお預かりした税金をいかに効率的に皆様へお返しするかというなかで、皆様からのご要望を、直接で結構ですので、ぜひお聞かせ頂きたいと思います。行政だけではできない仕事もあります。ぜひ皆様の地域

で、あるいはこうした団体で、それぞれの力を発揮していただき、地域社会の向上にご協力、ご努力をいただくことを最後にお願ひしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

<ニココロBOX>

皆さん、新型インフルエンザが流行していますので気を付けてください。

本日のゲストの高山市副市長 國島芳明(みちひろ)様、ようこそおいで下さいました。卓話を楽しみにしておりますのでよろしくお願ひ致します。また、高山西RCの米澤久二様・中林和夫様のご来訪を歓迎申し上げます。

理事役員一同

久しぶりのメイクです。世界陸上のボルトのように常に新記録を目指して人生頑張ります。高山中央RCの皆様も頑張ってください。

高山西RC 米澤久二様・中林和夫様

長い間お休みしましてすみませんでした。8月1日より千島町のエムアセット田口さんの2階へ引っ越しました。今後ともよろしくお願ひします。

岡崎 壮男

國島副市長の当クラブへのご来許を歓迎し、日頃の高山市での活躍に対し敬意を表すものです。同期の桜より。

針山 順一郎

高山西RCの米澤久二様・中林和夫様ようこそ。

永田 富次

高山市副市長 國島様、本日はお忙しい所ありがとうございます。卓話を楽しみにしています。高山西RCの米澤久二様・中林和夫様のご来訪を歓迎申し上げます。

**伊藤 正隆 大保木 正博
三枝 祥一 新井 秀信**

國島副市長のご来訪を歓迎し、講話をよろしくお願ひします。高山西RCの米澤久二様・中林和夫様のご来訪を歓迎します。土曜日曜とテニスで乗鞍高原に行って来ました。夏はもう終わりで人は少ないかと思いましたが、ホテルは満員でびっくりしました

平林 英一

本日のゲストスピーカー國島副市長様、卓話を楽しみにしています。高山西RCの米澤久二様・中林和夫様のご来訪ご苦労様です。本日の『100%出席例会』非常に残念です。

松之木 映一

國島副市長の卓話を楽しみにしています。よろしくお願ひします。

富士井 忠男

本日、早退いたします。

下田 徳彦